

「年間第2主日B」2021年01月17日「一緒に祈りましょう」

皆様、
主の希望、信頼、平和のうちに、信仰はわたしたちの盾です。

01月17日は、**「年間第二主日B」**です。

今日、皆さんは参加することが出来ないので、一緒に心をあわせて、祈りましょう。
時間がある時は、一本のろうそくをつけて、沈黙し、十字架のしるしをゆっくり行いましょう。

「聖書と典礼2021.01.17」をお持ちであれば、その流れに従って、次にあるコメントを自由にお使い下さい、少なくとも、聖書を開いて、第一朗読サムエル記上3.3b-10、19と、「答唱詩編」40(39)、第二朗読使徒パウロのコリントの教会への第一手紙6.13c-15a、17-20と、ヨハネによる福音1章35-42節を読み、個人的に黙想し、神のみ言葉についての分かち合い/共同祈願を行いましょう。

コメント アントワン神父

I- 第一朗読サムエル記上3.3b-10、19 について

「エリは、少年と呼ばれたのは主であると悟り(ました)。」(8節)の意味することは、サムエルが主に「どうぞお話しください。僕は聞いております」と答えるために、「指導者」、「精神的な指導者」、「霊的な指導者」が必要だったということです。今も「召命」を識別するために指導する人は必要です。

召命、特にさいたま教区の司祭と助祭の召命の為に祈りましょう。

(添付されている **一粒の麦の祈り** で祈りましょう)

「(主)の言葉は一つたりとも地に落ちることはなかった。」(19節)とは、サムエルが神の言葉をしっかり守り従って、完成したと言う意味です。

II- 「答唱詩編」40(39) について

イスラエルという神の民の集会、エルサレムの神殿での集いの祈り、歌です。神は自分の民を救いました。神は自分の民の為に数え切れない「業」を行われました。イスラエルは神に感謝しながら、それを告げ知らせます。

III- 第二朗読パウロのコリント教会への第一手紙6.13c-15a、17-20 について

「知らないのですか。あなたがたの体は、神から頂いた聖霊が宿ってくださる神殿です。」(19節)。私たちは洗礼の時に聖霊を受けて、「聖霊の神殿」となりました。「神殿」とは、洗礼式の「解放を求める祈り、按手のしるし」「聖霊よ、来てください」と言う祈りと聖香油の塗油のしるしにより、「油を注がれた者」=「メシア」=「キリスト」になり、体が「聖別され、聖霊の家/神殿となったということなのです。

使徒パウロが理解させたいのは、「賜物、宝である体」を大切にしてくださいと言うメッセージです。

IV- ヨハネによる福音1章 35-42 節 について

「何を求めているのか」というイエスの質問はヨハネによる福音の中で、イエスの最初の言葉です。旧約聖書を閉めた洗礼者ヨハネからの二人の弟子は、新約聖書を開ける「神の小羊/メシア」を探しに来て、イエスを見て、彼に従いました。「ラビ、どこに泊まっておられるのですか。」、「来なさい、そうすれば分かる。」とは、イエスは二人のために回心の道、信仰の道を開いて、「わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。」(ヨハネ8.31)また、自分の教えを学ぶように呼び掛けたのです。

イエスの「住まい」は家ではなく、教会のお聖堂の聖櫃だけでもなく、イエスが行っておられるところどこでもです。イエスのみ言葉が実を結ぶところ、イエスの教えた隣人愛を実践するところ、イエスの名によって集まる人々のところ、御国が来るようなところなどです。

二人のうち一人は、アンデレ、すなわちシモン・ペトロの兄弟です。しかしもう一人の弟子の名前が分かりません。その名前を持ってない弟子は、私たちのひとり一人ではないでしょうか。イエスが「何を求めているのですか。」と聞いて、私はイエスに何を答えますか、何を願っているのですか。

(沈黙、分ち合いか/共同祈願か)

次に、祈りましょう。(ミサの集会祈願)

「一人ひとりに呼び掛けてくださる神よ、世に使わされたひとり子イエスは、生涯をかけて福音を告げ知らせてくださいました。きょう救いの言葉に心を開くすべての人が、命の道を見いだすことができますように。

聖霊の交わりのなかで、あなたとともに世に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。」

最後に 十字架のしるしをゆっくり行いましょう。「父である神様に感謝」。
新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈りを一緒に祈りましょう。(別紙)

+ 添付されている **一粒の麦の祈り** で祈りましょう

日本にある教会、
特にさいたま教区の召命のために祈りましょう。

一粒の麦の祈り PRAYER FOR PRIESTLY VOCATIONS

hitotsubu no mugi no inori ORACION PARA LAS VOCACIONES SACERDOTALES

私はよい牧者である。

Watashi wa yoibokusha de aru.

よい牧者は羊のためにいのちを捨てる。

yoibokusha wa hitsuji no tame ni inochi o steru.

わたしは私の羊たちを知っており

Watashi wa watashi no hitsujitachi o shitteori,

私の羊もまたわたしを知っている。(1)

Watashi no hitsuji mo mata watashi o shitteiru. (1)

いつくしみふかい主よ、聖霊によって、

itsukushimifukai Shu yo, Seirei ni yotte,

わたしたちを祈りに招いてくださることに感謝いたします。

watashitachi o inori ni maneitekudasaru koto ni kansha itashimasu.

キリストに生涯をささげようとする神学生を守り、導いてください。

Kirisuto ni shôgai o sasageyô to suru shingakusei o mamori,

michibitekudasai

彼らがあなたの呼びかけに感謝と喜びをもって応えることができますように。

karera ga anata no yobikake ni kansha to yorokobi o motte kotaeru

koto ga dekimasuyôni.

また、若者たちがそれぞれの召命を清い心で受けとめ、

mata, wakamonotachi ga sorezore no shômei o kiyoi kokoro de uketome,

あなたの国のために働くことができますように。

anata no kuni no tameni hataraku koto ga dekimasuyôni.

わたしたちの主、イエス・キリストによって。

watashitachi no Shu, Iesu・Kirisuto niyotte.

アーメン Amen.